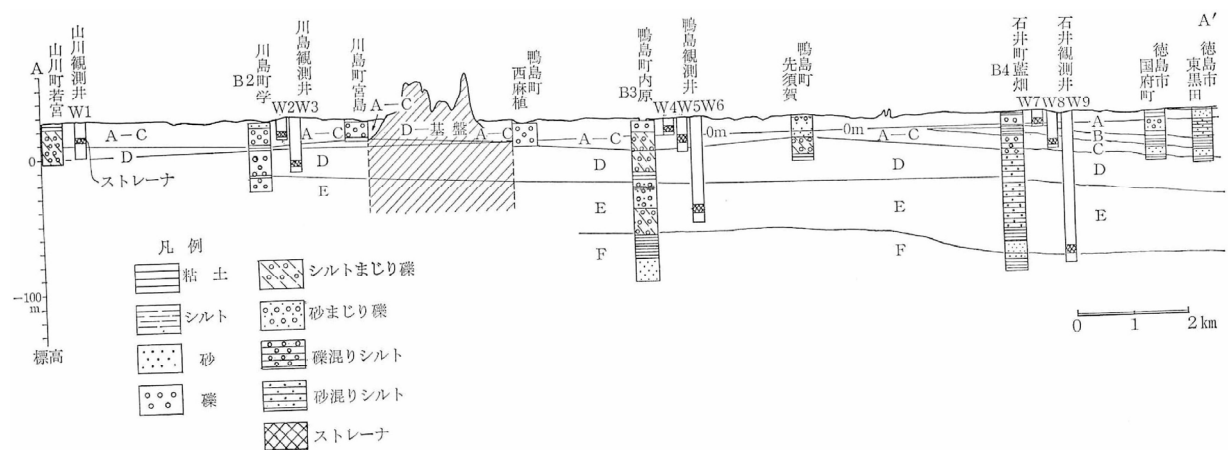


## 地形・地質

徳島平野は吉野川の下流に発達した沖積平野で、四国でも有数な地下水利用地帯です。都市化や吉野川上流のダム群の建設等の影響で地下水障害が発生した1970年代以降、地下水保全のための調査が数々の機関によって行われています。

## 地下水

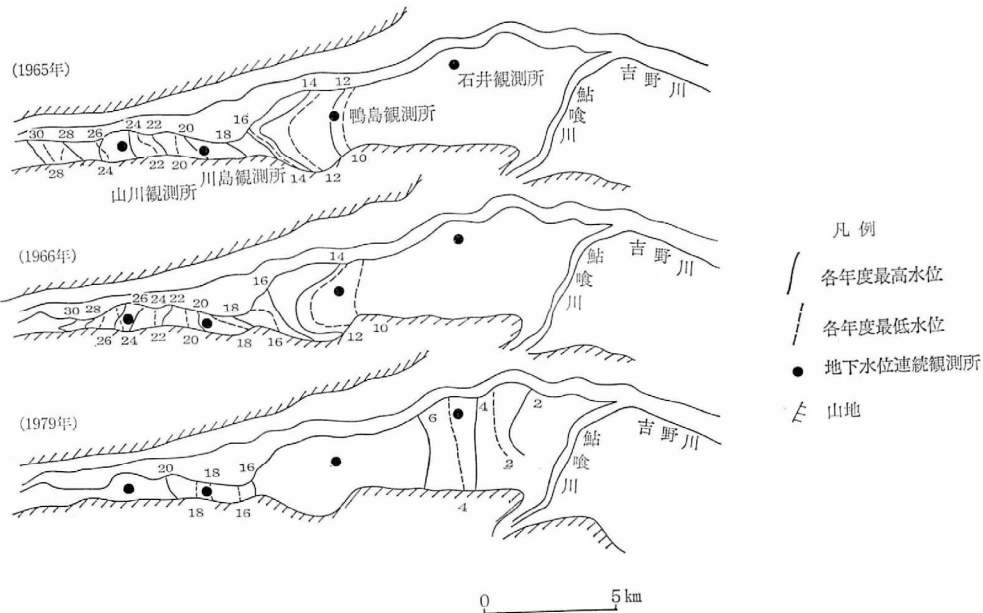
不圧地下水は、主としてA層(石井町以西においては徳島層)中に存在し、徳島平野の中部で農業用水として用いられています。被圧地下水は、主としてC層およびE層に存在し、徳島市を中心とする海岸部で工業用水に利用されています。



徳島平野の模式断面図

## 徳島平野の地下地層層序表

時代	地層名	層相	層厚	水文地質	水理定数	
第四紀	完新世	A層	灰, 暗灰色 礫まじり砂層	20m以下	不圧地下水帯水層。地下水は山川, 川島, 鴨島, 石井町を中心に主として農業用水として利用されている。 海岸部(高德本線以東)でところにより地下水の塩水化が進んでいる。	$k=1\sim 3 \times 10^0$ (cm/s)
		B層	暗灰~灰色 海成シルト~粘土層 数十cmのオンジ火山灰層を挟む	30m以下	難帯水層	
		C層	灰色 砂礫層	50m以下	不圧・被圧地下水帯水層。 石井町以東に分布する。地下水は主として工業用水として利用されている。 海岸部でところにより地下水の塩水化が進んでいる。	$k=1\sim 3 \times 10^{-1}$ (cm/s)
	更新世	D層	黄褐色 砂礫まじり粘土層	30m以下	難帯水層	
		E層	黄褐色 粘土まじり砂礫層	30~100m	不圧, 被圧地下水帯水層。 地下水は主として工業用水として利用されている。 海岸部でところにより地下水の塩水化が進んでいる。	$k=1 \times 10^{-1}$ ~ $1 \times 10^{-2}$ (cm/s)
		F層	黄~灰青色 砂礫まじり粘土層	50m以下	難帯水層	
		G層	黄~灰青色 粘土まじり砂礫層	10m以下	帯水層であるが分布はせまい。	$k=7\sim 8$ $\times 10^{-4}$ (cm/s)
古~中生代	和泉砂岩層 三波川結晶片岩			不透水性基盤		



出典 日本の地下水（農業用地下水研究グループ, 1986）（一部加筆）

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記の Web ページで閲覧できます。

<http://www.iagh.jp/jp/g/activities/committee/research/gwdb.html>（日本地下水学会）